

坂本龍佑 通信

さかもと

りゅうすけ

ごあいさつ 2024年度の予算が成立しました。予算は皆様からお預かりした税金の使い道が決まる大切なものです。今回は、財政構造改善の途中で、新規事業の少ない予算となりましたが、皆様の税金がどのように使われているのか関心を持っていただけますと幸いです。

令和6年度予算

皆様の税金はこのように使われています!



令和6年度予算と財政構造の改善について

西宮市では、2024年度、2032億円の予算が組まれました。**この予算は、財政・減災基金(貯金)を73億円取り崩して成立したものです。**例年、決算時に不要額が出るのが慣例となっておりますが、単年度の収支赤字が続くと、予算編成が困難になる可能性もあることから、**財政状況の改善が急務**です。

その一環で、市民の皆様が受けているサービスのいくつかが見直されます。

「人間ドック受診費用助成額の見直し」、「米寿のお祝い事業の廃止」、「健康ポイント事業の経費見直し」などがその一例です。

他にも、「市立幼稚園の統廃合による市有地の売却」「施設利用料の適正化」「ふるさと納税の強化」などによって歳入を確保し、「人員の削減」「デジタル化による働き方改革」等で、歳出を抑制することが発表されております。

詳しくはこちら!



これからについて

新しい事業を始めていくためには、既存の事業のうち効果の薄いものを見直す必要があるのは当然のことです。ただ、財政が厳しい→事業を見直すのではなく、**常に市民にとっての政策の重要度を定量的に判断し、スクラップアンドビルドを繰り返すことが必要**と訴えてまいります!



一般質問で取り上げた課題が実現しております!



市営住宅駐車場の契約率の向上と収入増の取り組みとして、空いている駐車場の外部への賃借のために、募集看板の設置と駐車場台数が30台以下の場合でも外部居住者が賃貸できるように求めた結果、2024年度から開始されました!



市営住宅の駐車場を借りたい方はこちらから ↑

連絡先(啓誠会控室) 市政相談受付中! お気軽に!

〒662-8567 六湛寺町10番3号 議員控室 啓誠会

電話 080-2448-1226

メール info@sakamotoryusuke.com

ウェブ sakamotoryusuke.com



◀ 各種SNSはこちら!





現在の西宮市のように、財政状況が悪化すると、福祉サービス、清掃サービス、施設利用料などを削ることで、財源を捻出する必要が生じます。一方、西宮市でも人口減少社会に突入しており、西宮市に限らず地方自治体では、人口獲得のために、子育て支援を中心に様々なサービスが展開されております。ただ、この子育て支援競争には、当然ですが財源が必要になります。

例えば、「給食費の無償化」です。給食費は各市町村が運営していることから、自己負担の額が違ってきます。自己負担の額を近隣の阪神間7市1町で比較すると、次の表のようになります。西宮市は、伊丹市が中学生の給食無償化を実現している中で、令和6年度から値上げを実施しており、価格差が拡大しております。

●給食費の自己負担額

	西宮市	尼崎市	芦屋市	宝塚市	伊丹市	川西市	三田市	猪名川町
小学生	275円	272円	265円	230円	242円	276円	279円	235円
中学生	325円	310円	306円	270円	無料	311円	323円	265円

また、他にも対象となることとして、「こども医療費の無償化」が挙げられます。これは石井市長の公約ですが、西宮ではまだ実現できておりません。高校生の医療費の補助をしている自治体もあれば、中学生までを所得制限なく完全に無償化している自治体もあり、単純比較できませんが、入院費用の負担があるのは、西宮市と芦屋市のみということもあり、更なる取り組みが急務です。

●こども医療費の自己負担額

西宮市	尼崎市	芦屋市	宝塚市	伊丹市	川西市	三田市	猪名川町
▲	■	▲ ※R6年 7月から	○	○	○	■	○

▲…1歳～中学校3年生まで所得制限を超える場合と全ての高校生は外来：1日800円限度(月2回まで、3回目以降無料)、入院：1割負担(月3,200円限度)所得制限を超えない場合は、自己負担なし

■…1歳～中学校3年生まで所得に応じて、外来：1日無料or400円or800円限度(月2回まで、3回目以降無料)、高校生まで入院無料

○…中学校卒業まで所得制限なく自己負担なし、高校生まで入院無料

他にも、伊丹市では第二子以降の0～2歳の保育料を無償化しております。

各市では学童保育の自己負担額も異なっていたり、水道料金が違ったりと行政サービスによって、住民の自己負担額は大きく異なっています。もちろん**自己負担額だけではなく、提供しているサービスの質にも目を向ける必要があります**。例えば、西宮市では、保育士の配置基準が国の基準よりも高く、手厚い保育サービスが提供されております。ただ、学童保育では、他市が6年生まで通えるようになってきている一方、西宮市では施設が増設されておらず、4年生ですら通えないという地域もあります。

以上のように、全てを単純比較することは難しいのですが、こういった**自治体による人口獲得競争は更に加熱**していくことになりそうかと思えます。そうした中で、住みたい自治体と言われている西宮市がこれからも選ばれ続ける街であるためには、**財政を早急に立て直し、住民サービスに充てられる財源を確保することで、他市に劣らない子育て支援策による人口増を目指していくべきです!**



総務常任委員会の施策研究テーマ「定員管理計画について」

私が委員長を務めさせていただいた総務常任委員会では、令和5年度の一年間をかけて、西宮市の職員の定員がどうあるべきなのか研究を重ねてきました。

そのような中、西宮市では、財政構造改善の一環で、退職した職員を不補充とすることで、令和10年度までに、正規職員を160～170人、会計年度人用職員(非常勤)を60人減少させる計画を発表しました。そして迎えた令和6年度の新卒職員は、昨年の131名から72名減となる59名となりました。**新規採用の急速な減少は、将来の職員構成に大きな影響を与えることから、本来は年度ごとにここまで大きな差があることは望ましくありません。**

一年前と比較して、急に半分以下になるほど財政が急に悪化したわけではないので、もう少し財政見直しについて

ちんと考えていけば、計画的な採用ができるはずですが、更に、市は過去に職員定数を増加させたいとすら考えていたことを踏まえると、計画性のなさを残念に思います。

一方、公務員には労働基本権(いわゆるストライキ)が制限されております。**昨今の賃上げの流れの中で、市役所の職員も同様に賃金が上げられるべき**と考えているため、人事院勧告という国主導の賃上げに対しては、賛成しておりますが、西宮市の一般会計に占める人件費比率が18.8%であるのに対し、近隣で人口規模が近い尼崎市の人件費比率が13.9%ということを見ると、**人件費が財政状況を圧迫していることは確かであり、職員数を適切に管理していくことは市民サービスにも大きな影響を及ぼすものです。**